

上智大学は2013年に創立100周年を迎えます。

この記念の年に向けた様々な記念行事の一環としてこれから一連のコンサートを企画いたします。

今回はその第一弾。ピアニストの杉谷昭子さんをお迎えしました。

Shoko Sugitani Piano Recital

杉谷昭子 ピアノ・リサイタル

2010.10.30(土) 14:30 開場 15:00 開演
上智大学10号館講堂

JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅より徒歩3分

- | | |
|-------------|---|
| 1. J.S. バッハ | W. ケンプ編 “主よ、人の望みの喜びよ” |
| 2. J.S. バッハ | W. ケンプ編 “我、汝の名を呼ぶ” |
| 3. J.S. バッハ | アリア「羊は安らかに草をはむ」
(カンタータ「楽しき狩こそわが喜び」)
BWV208 より |
| 4. J.S. バッハ | 半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903 |
| 5. ベートーヴェン | ピアノソナタ ヘ短調 Op. 57 「熱情」
- Pause - |
| 6. ショパン | ノクターン 嬰ハ短調 「遺作」 |
| ショパン | ワルツ 変ニ長調 Op. 64-1 「小犬のワルツ」 |
| | ワルツ 嬰ハ短調 Op. 64-2 「悲しみ」 |
| ショパン | 幻想即興曲 嬰ハ短調 Op. 66 |
| ショパン | エチュード ハ短調 Op. 10-12 「革命」 |
| 7. カルデイツロ | (杉谷昭子、編曲)
「カタリ、カタリ」(つれなき恋人) |
| 8. デ・ファリヤ | 「恋は魔術師」より「火祭りの踊り」 |

使用ピアノ：ファツィオリ F308

全席自由：一般3,000円(学割1,000円) ※未就学児の入場はご遠慮願います。

杉谷昭子氏のご厚意により、チケット売上金は、創立100周年のための寄付金として收受させていただきます。

お問合せ：上智大学カトリックセンター

TEL 03-3238-4161 FAX 03-3238-3031 E-mail: yuuko_kondoo@cl.sophia.ac.jp

チケット販売窓口：10:00～17:00

上智大学カトリックセンター・募金室・ソフィア会事務局・聖イグナチオ教会案内所

※Fax、E-mailによる購入のお申し込みも受付けています。(当日、代金引換え渡し)



主催：上智大学創立100周年記念コンサート実行委員会

後援：上智大学ソフィア会

Profile 杉谷 昭子 Shoko Sugitani (ピアノ)

矢田映子、井口秋子に師事して東京芸術大学卒業後ドイツに留学。デートレフ・クラウス、エリーザ・ハンゼン、ブルーノ・レオナルド・ゲルバー、アレクシス・ワインベルク、クラウディオ・アラウ等に師事。1971年エッセン・フォルクヴァングコンクール優勝。72年マリア・カナラス国際コンクール2位。ミラノ音楽祭出演。73年ヴィオッティ国際コンクール銀賞。76年ケルン音楽大学大学院修了。

旧西独演奏家国家試験で1位を獲得したブラームスのピアノ協奏曲第1番が大手マネージャーに認められ、同年デュッセルドルフでヨーロッパデビュー。77年独シュヴァン社で初のソロアルバムをリリース。ロンドン・ウィグモアホール及びロイヤル・アルバートホール、アムステルダム・コンサートヘボウ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、ベルリン・シャオシュピールハウス、シュトゥットガルト・リーダーハレ、サントリーホール等で、ロンドン新交響楽団、ベルリン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団、フランツ・リスト室内管弦楽団、ヴェルテンベルク室内管弦楽団、モスクワ室内管弦楽団、プラハ放送交響楽団、フィルハーモニア・フンガリカ、ワルシャワ国立フィルハーモニー、チェコ・フィル六重奏団、ゲヴァントハウス八重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、ベルリンフィル弦楽五重奏団、ザイフェルト弦楽四重奏団、アマルコルド・クワルテット・ベルリン、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー弦楽楽団等と共演。また、クララ・シューマン国際ピアノコンクールの審査員をアルゲリッチ、ワイセンベルク、アシュケナージ等と並んで歴任するなど、その活躍はコンサートピアニストにとどまらず、ピアノ教育の最前線にも及び国際的に広がっている。1984年リリースのブラームス・ピアノ独奏曲全集、95年のベルリン交響楽団とのベートーヴェン・ピアノ協奏曲全集（ヴァイオリン協奏曲のピアノ版を含む）は、ともに女流としては世界初の快挙として記憶される。クララ&ロベルトシューマンピアノ協奏曲、ベートーヴェン／三大ピアノソナタなど、国内外でのCDリリースも多く、近年ではポリグラムより珠玉の名曲選《カタリカタリ》を発売し、いまだにロングセラーを続けている。98年には演奏活動30周年記念の年にあたり、全国縦断の記念コンサートを開催したかわら、ポーランド国立放送交響楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲のCD制作。ベートーヴェン・ピアノソナタ連続演奏とそのレコーディングも完成し、その精力的な演奏活動は多くの識者の注目を浴びながら、現在に至っている。

2001年12月ウィーン楽友協会大ホールにて『熱情』ソナタを、2002年11月には東京オペラシティホールにてカジミエシ・コルド指揮ワルシャワ国立フィルとベートーヴェン・ピアノ協奏曲第5番《皇帝》を弾き好評を得る。また、シューマン音楽祭でベルリオーズ作曲/リスト編曲《幻想即興曲》を弾き世界的な音楽学者並びに評論家のヨアヒム・カイザーやマルタ・アルゲリッチから賞賛された。ライプツィヒ・ゲヴァントハウス室内楽定期演奏会には定期的に招聘され、またウィーン・フィルやベルリン・フィルのトップメンバーと室内楽の夕べを各地で展開。2008年度演奏活動40周年を迎えた。2008年度大晦日、東京オペラシティホールにて日本を代表する16人のピアニストによるベートーヴェン：ピアノソナタ全曲演奏会で「葬送」「幻想」ソナタを演奏。2009年3月、珠玉のピアノ名曲選 Vol.2「誰も寝てはならぬ」をリリース、発売記念リサイタルを各地で行った。10月にはベルリンフィルハーモニー弦楽五重奏団とシューベルト『鱒』を共演。2010年より『ドイツ音楽10年の旅路』を開始。同年12月にはライプツィヒ・ゲヴァントハウス弦楽四重奏団と共演予定。日本を代表するピアニストの一人であるとともに国際的にも高く評価されている。

2010年よりヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan を創設。